

# 美術科学習指導案

尾道市立長江中学校

指導者 小田 恭子

- 1 日 時 令和4年10月12日(水) 6時限目
- 2 場 所 美術教室
- 3 学年・学級 1年1組(男子20名, 女子11名 計31名),  
自閉症・情緒障害特別支援学級(ひまわり学級 女子1名)
- 4 題 材 名 文字で楽しく伝える ～絵文字の制作～
- 5 題材について

本題材は、中学校学習指導要領(美術)の次の内容を受けて設定している。

## A 表現

(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。

イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。

## B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。

イ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(イ) 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

### [共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

## (1) 題 材 観

本題材は、「絵文字」の制作を主としている。本題材でいう「絵文字」とは、漢字の一部をその漢字の意味をもつイラストに変えるというものである。

本学級の生徒は、本題材から本格的にデザインの学習を行うが、日常生活の中でなじみのある漢字をモチーフにするためデザインを考える際に発想しやすく、初めて行うデザインの学習としては生徒にとって取り組みやすい題材であると考えている。

本題材では、伝えたい内容をもとに自ら主題を生み出しながら絵文字の作品を制作し、その後お互いの作品を鑑賞し合う活動を行う。デザインの知識・技能を活用して制作した作品をもとに他者に情報を伝えたり受容したりする交流の活動を行うことで、デザインという分野に関心をもち、条件や用具の生かし方を考えながら豊かに表現する力を育むことをねらいとしている。

## (2) 生徒観

7月に学びに係るアンケートを行ったところ、次の結果が示された。

質問項目	肯定的回答 (本学級)	肯定的回答 (学年)
① 美術の授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。	90%	85%
② 美術の授業では、「できた」、「わかった」と感じるがあります。	90%	92%
③ 授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	67%	69%

本学級の生徒は、1学期に「手」と「教科書」をモチーフにした構想デッサンを行っている。絵画の創作活動の中で、形の描き方や色の塗り方、構図の取り方、描画材の使い方などの、絵画の基礎的な技能を理解・習得を図った。質問項目①②の結果より、本学級のほとんどの生徒は美術の授業に主体的に取り組み、学んだ知識や技能が理解でき、習得できていることが示される。

しかし、現時点で本学級の生徒は、デザインの基礎的な知識や技能はまだ身に付けていない状態だと考える。そこで本題材の創作活動の中で、形や色、構成が見る人に与える効果についてなどのデザインの知識や、材料や用具の工夫の仕方などの技能を身に付けさせる必要がある。

また、質問項目③の結果より、美術の授業に限らず、授業の活動の中で「自分の考えを積極的に伝えている」生徒は67%である。授業に対しての意欲は高く、活動に対しての達成感もある程度もっていると思われるが、自分の考えを積極的に伝えられている生徒の割合はそれほど高くない。本学級の生徒のよさである、授業に対しての意欲の高さを生かしながら、自分が伝えたいことをもとに主題を生み出して作品の発想や構想を練る力や、材料や用具を効果的に用いて表現する力を伸ばし、完成した作品をもとにして発表をしたり鑑賞を行ったりすることで、自分の考えや表したいことを他者に伝える力の育成をねらいとしている。

## (3) 指導観

本題材では、『焦点化』、『共有化』、『視覚化』に留意した授業のユニバーサルデザイン化を取り入れた授業づくりを行う。

題材の導入では、デザインの分野の導入として、街で見かける看板や商品のロゴタイプなどの文字を使ったデザインを紹介し、確認させる。また、生徒たちが制作する「絵文字」の仕組みを説明する際にもICTを用いて『視覚化』して提示することで、学習内容に対する生徒の期待感を高められるのではないかと考える。

「絵文字」の構想を練る際には、「へん」を残し、「つくり」を漢字の意味をイラストに変えるというルールを提示したり、全員で例題に取り組んだりすることで、学習課題の『焦点化』を図る。また、例題で考えたアイデアの交流をグループや全体で行うことで、学習活動の『共有化』を図る。

個人思考の場面では、レタリング字典を活用してモチーフとなる「文字」の『視覚化』を行い、制作への意欲喚起につなげたい。また、絵文字を考えるポイントを押さえながら、生徒がそれぞれ多様な作

品を生み出せるように、「物の名前を表す文字を選び、その物のイラストを描く」、「動きを表す文字を選び、その動きを表すイラストを描く」という助言を行うことで、思考の『焦点化』を図る。イラストを描く時には、絵を描くことに苦手意識をもつ生徒や、難しい形に挑戦したい生徒の活動の手助けとなるように、タブレットを用いてインターネットの画像検索を利用させる。その際、著作権侵害とならないように、あくまで参考資料として活用するよう促す。

絵文字の描画の工程に入る前に、予めワークシートを用いたレタリングの練習をさせ、レタリングの基本的な技能を習得させておく。また、色彩の基礎的な知識やその効果を学ばせることで、わかりやすさや美しさを感じられる配色の工夫について理解させたい。

作品完成後は相互鑑賞を行い、自分が表現したものについて周りの人に伝えたり、他の人の作品の工夫に気づいたりする中で、生徒がお互いの作品のよさを認め合い、生活を楽しくする美術作品のよさを味わう活動にしたい。

## 6 題材の目標

(1) 形や色、構成などの効果を生かし、材料や用具を工夫しながら作品を制作することができる。

【知識・技能】

(2) 伝える内容を考えて発想を広げ、形や色を工夫して絵文字を考えたり表したりすることができる。

【思考・判断・表現】

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動や、作品に込められた表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

本校で育成したい資質・能力のうち、本題材で特に育成を目指すのは、「つながる知識」、「かかわる力」である。

## 7 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文字の形や構成などが見る人に与える効果について理解している。 ②ポスターカラーの特性を生かしながら、着色を行っている。	①ルールを理解して絵文字にしたい文字を選び、見る人のわかりやすさや面白さなどを考え、表現の構想を練っている。 ②主題をもとに、わかりやすさと美しさなどとの調和を考えながら下図に表している。 ③主題をもとに、わかりやすさと美しさなどとの調和をふまえながら配色を考えている。 ④作品のよさや工夫点を、主題や表現の意図と関連付けながら見つけている。	①レタリング字典などから文字を選んで、楽しみながらアイデアスケッチに表そうとしている。 ②作品の主題や意図をあらわすそうと、主体的に着色に取り組もうとしている。 ③自分と他者の作品のよさや工夫点を見つけようとしている。

8 指導と評価の計画（全8時間）本時1／8

次数	○学習内容 ・学習活動 【時数】	評 価			
		知	思	態	
第一 次	<p>○文字を使ったデザインについて知る。 ・街で見かける看板や商品のロゴタイプを見て、文字を使ったデザインにはどのようなものがあるか確認する。</p> <p>○絵文字の仕組みを知る。 ・参考作品を見て、絵文字のルールを確認する。</p> <p>○例題を考える。 ・ChromeBook のアプリを活用して、提示された例題の絵文字を考えて作図する。 ・グループで、互いに作図した絵文字が何であるか当て合う。 ・ルールを理解して作図ができたか、全体で確認する。</p> <p>○アイデアスケッチをする。 ・アイデアスケッチをするうえでの工夫のポイントを確認する。 ・レタリング字典を参考しながら、アイデアスケッチをする。</p> <p>◆本時 【1／2時間】</p>		○	○	<p>・ルールを理解して絵文字にした文字を選び、見る人のわかりやすさや面白さなどを考え、表現の構想を練っている。（行動観察、ワークシート）【思考・判断・表現】</p> <p>・レタリング字典などから複数の文字を選んで、楽しみながらアイデアスケッチに表そうとしている。（行動観察、ワークシート）【主体的に学習に取り組む態度】</p>
第二 次	<p>○構成の基本について知る。 ・シンメトリーやアクセントなどの構成の要素について知る。</p> <p>○下図を描く。 ・前時までに描いたアイデアスケッチから、作品にするアイデアを決定する。 ・ChromeBook を使って描画に必要な資料を探す。 ・着色のことを考えて形を整えながら、絵文字の下図を描く。の</p> <p>【1時間】</p>	○	○		<p>・文字の形や構成などが見る人に与える効果について理解している。（行動観察、ワークシート、作品）【知識・技能】</p> <p>・主題をもとに、わかりやすさと美しさなどの調和を考えながら下図に表している。（行動観察、ワークシート）【思考・判断・表現】</p>
第三 次	<p>○色彩について知る。 ・色の三要素や配色についてなど、色の性質と効果について知る。</p> <p>○下図を転写する。 ・画用紙に下図を転写する。</p> <p>○配色計画をする。 ・主題をもとに、わかりやすさや美しさをふまえて配色をする。</p> <p>【1時間】</p>		○		<p>・主題をもとに、わかりやすさと美しさなどの調和をふまえながら配色を考えている。（行動観察、ワークシート）【思考・判断・表現】</p>

第四次	○ポスターカラーで着色をする。 ・平塗りの方法を確認する。 ・配色を確認しながら、着色をする。 【3時間】	○	○	○	・ポスターカラーの特性を生かしながら、着色を行っている。(行動観察, ワークシート, 作品)【知識・技能】 ・作品の主題や意図をあらわすそうと、主体的に着色に取り組もうしている。(行動観察, ワークシート, 作品)【主体的に学習に取り組む態度】
第五次	○作品を鑑賞する。 ・お互いの作品を鑑賞し合い, 思ったことや感じたことをワークシートに記述する。 【1時間】		○	○	・作品のよさや工夫点を、主題や表現の意図と関連付けながら見つけている。(行動観察, ワークシート)【思考・判断・表現】 ・自分と他者の作品のよさや工夫点を見つけようとしている。(行動観察, ワークシート)【主体的に学習に取り組む態度】

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

絵文字の仕組みと作り方を理解し、楽しみながら絵文字のアイデアスケッチに取り組もうとしている。

### (2) 本時の準備物

・ワークシート      ・レタリング字典      ・タブレット「ChromeBook」      ・参考作品

### (3) 本時の主体的な学びを促す手立て

タブレットを活用して、他の人と交流しながら絵文字の作り方を学んでいく場面。

【見所】学習活動5, 6

### (4) 本時の評価基準

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手立て (C)
○レタリング字典などから複数の文字を選んで、楽しみながらアイデアスケッチに表そうとしている。	○レタリング字典などから文字を選んで、楽しみながらアイデアスケッチに表そうとしている。	○タブレットを用いて例題を考え、グループや全体で交流することで、絵文字の作り方を確認させる。

(5) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆努力を要する生徒への支援	☆評価規準（評価方法）
導入	<p>1 文字を使ったデザインにはどんなものがあるか確認する。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">文字の意味を表す絵文字を考えることができる。</div> <p>3 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">文字の意味に合った絵を用いた絵文字を考え、アイデアスケッチ用紙に作図する。</div>	<p>○街の風景の看板や商品のパッケージの写真を見せ、文字を使ったデザインが身の回りに多くあることに気付かせる。</p> <p>○美術の授業作品のポスターや絵文字を見せ、文字を用いる作品には様々なものがあることを伝える。</p> <p>○学習目標を示す。</p> <p>○学習課題を示す。</p>	
展開	<p>4 絵文字の仕組みを知る。</p> <p>5 タブレットを使って、絵文字を作る。</p> <p>6 作った絵文字をもとに、グループや全体で交流する。</p>	<p>○漢字の「へん」を残し、「つくり」を漢字の意味を表す絵に変えるルールであることを伝える。</p> <p>◆漢字の意味に合っていない絵文字を提示して何が間違っているかを指摘させる。それを全員で確認することで、ルールの定着を図る。</p> <p>○ClassRoomに「へん」のみを提示した例題を出し、アプリを用いて絵文字を作成させる。</p> <p>◆アイデアが浮かばない生徒には、机間指導の中で絵文字にしやすい漢字を助言する。</p> <p>○グループで、お互いが作った絵文字が何の漢字をもとにしているか、クイズ形式で当てさせる。</p> <p>○動きを表す絵を描くなど、工夫が見られるアイデアを全体で紹介する。</p>	

	7 絵文字のアイデアスケッチをする。	<p>○レタリング字典から絵文字になりそうな漢字を選び、アイデアスケッチ用紙に作図させる。</p> <p>◆すぐに絵が浮かばない場合は、絵文字になりそうな漢字をメモしておくように伝える。</p> <p>◆絵がうまく描けない生徒には、参考資料として、インターネットの画像検索を活用するよう助言する。</p> <p>○モチーフが作品の意図に合う物になっているかをお互いに確認させる。</p>	☆レタリング字典などから複数の文字を選んで、楽しみながらアイデアスケッチに表そうとしている。(行動観察, ワークシート)
まとめ	8 次回の学習内容の確認と、本時の学習の振り返りをする。	○絵文字の仕組みと作り方が理解できたかを振り返りに記述させる。	

(6) 板書計画

<p>(題材) 文字で楽しく伝える ～絵文字の制作～</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 150px; margin-top: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>スクリーン</p> </div>	<p>〈目標〉 文字の意味を表す絵文字を考えることができる。</p> <p>〈課題〉 文字の意味に合った絵を用いた絵文字を考え、アイデアスケッチ用紙に作図する。</p> <p>○絵文字のルール</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①漢字1文字を使う。 ②「へん」を残し、「つくり」を絵に変える。 ③絵は、その漢字の意味を表すものにする。</p> </div> <p>○アイデアスケッチをするときの工夫のポイント</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">〈物の名前の漢字を使う〉</td> <td style="width: 50%;">〈動きを表す漢字を使う〉</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">参考作品</td> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">参考作品</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">参考作品</td> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">参考作品</td> </tr> </table>	〈物の名前の漢字を使う〉	〈動きを表す漢字を使う〉	参考作品	参考作品	参考作品	参考作品
〈物の名前の漢字を使う〉	〈動きを表す漢字を使う〉						
参考作品	参考作品						
参考作品	参考作品						